



七月十日には、本オープンに先立ち、近隣の皆様限定で撰田屋店のお披露目プレオープンが予定されています。街にあらたな風がふきこまれます。皆様ご期待くださいませ。

「江戸時代から醸造文化が栄えた町「撰田屋」。水に恵まれ信濃川の舟運と三国街道により、味噌や醤油、酒などの醸造業が栄え、江戸時代には幕府の天領として発展してきました。そして現代、食を通して魅力あふれる醸造蔵が繋がり、世代を超えた人々が行き交っています。そんな開かれた醸造の町へと進化していく撰田屋で、江口だんごは次の夢への挑戦を始めます。」

創業明治35年、長岡の地で愛される伝統の味を守り続ける江口だんごさんが、今夏撰田屋にて、古今を繋ぐあらたな価値を見出す新店舗「江口だんご撰田屋店」をオープンされます。左文は、開設に伴う江口だんごさんオープンにあたってのご挨拶です。

江口だんご撰田屋店七月二十二日、本オープン

HAKKO

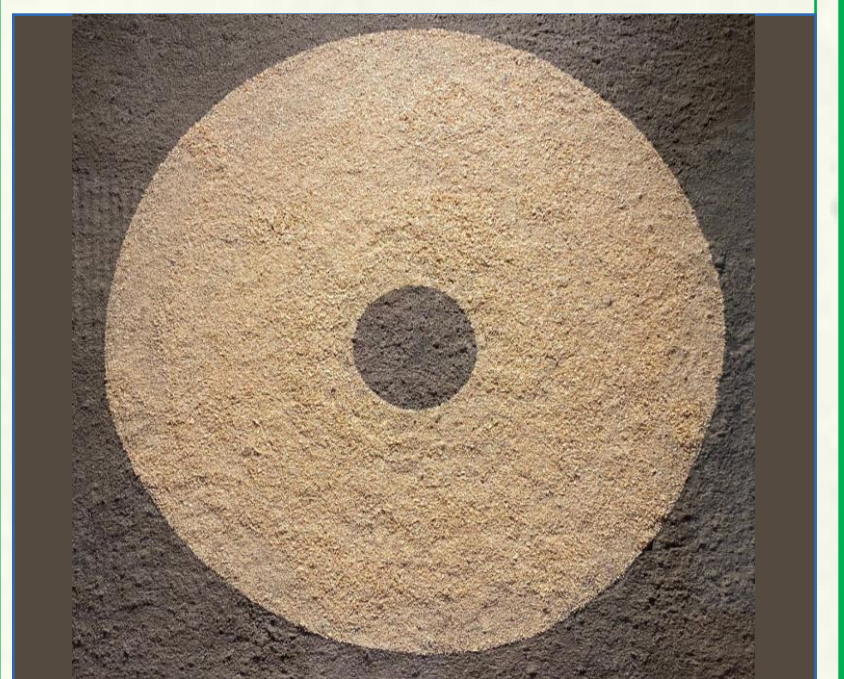
Vol. 10

2022.07

かわら版

近者悦、遠者来

ミライ発酵本舗



特別講演

「継之助が見た日本の未来」

「継之助の足跡を画く」原画展開催に伴い、期間中の6月18日(土)開催された特別講演。旅日記「塵壺」にみられる継之助の成長と、同時期に変革を迎える当時の日本。先進的な思考を持ち合わせ未来を見据える継之助。しかし、時代が彼に与えたのは滅びの結末でした。講演では、継之助の前半生を中心に当時の日本の状況とを重ね合わせ、時折この世界も想像しながら、多角的に研究された横本氏の解釈のもと、気付けば参加された方々すっかり歴史通になりました。古今が繋がる大切な講演会となりました。



歴史探訪

吉乃川株式会社
横本昌之氏
江戸の伝統文化を多角的に研究し内外に発進している。

江口だんごを表現したコンセプトロゴ。外側の円輪郭は伝統を繋ぎながら、つくり続ける「想像」と「可能性」をイメージした有機的(歪んだ)な円。中央の円は、過去、現在、そして未来とぶれることのない軸(信念)をイメージし、歪みのない円で表現されている。素材になっっているのは本店の幻米「里宮大正餅」の田んぼの土と藁や笹団子で使用している笹を使用。本物の物語があるコンセプトデザイン。期待が高まります。



Piano 中川沙也歌さん



Flute 武藤千明さん

ミュージックサフラン

今年度最初の演奏会。ピアノとフルートのデュオ。平和を願った名曲の数々が演奏され、お二人が演奏される優しく柔らかな響きに、聴衆のみなさまもしだいに表情が和やかに聞き入っておられました。多くの演奏家が聴衆の前での演奏を自粛して約2年、現在(いま)ようやく演奏者と聴衆が対面できる機会が増えられました。そして、世界中で素敵な演奏が響きわたるであろう向後の世界は、きっと音楽によって人々の安寧がもたらされ平和な日常が蘇ることと思います。